

岡崎嘉平太記念館



だより

Vol. 32

寄贈品紹介



軸「日蓮宗曼荼羅」

岡崎家に代々伝わってきた日蓮宗の曼荼羅軸。岡崎嘉平太氏姉の幾得さんのご遺族から寄贈いただいたもので、幾得さんが母のぶさんと晩年暮らしていたことから、曼荼羅軸も幾得さんが持たれていたそうです。

母の信仰心『岡崎嘉平太伝』より

私の母は、親父がアメリカにおりましたし、私を苦労して育てたものですから、非常に信仰心の強い人なんです。ですから、近所にある社寺へはよく参ったんですよ。

(中略)総社宮(総社市)には毎朝参らされました。小学校が総社宮の傍ですからね、総社宮に参つて学校に行けと言つんです。神様に参るのは途中で参るんじゃあ駄目だと言つんです。朝早く起きて総社宮に参つてから学校に行けと言つんです。総社宮の中には加藤清正を祀った清正公様というのがあり、それから菅原道真を祀つてある祠が別になつていんですが、願を掛けにそこへ必ず参らされたんです。(中略)私は嫌で、ついでに参ればいいんじゃないかと思つていましたが、母は神様に参るのはいいでないといいかと言つんで、時間になると往復三十分くらいでしたけど、苦勞させられたんですよ。その代わり、大学を出たときには苦しい中、旅費を作つてくれて、博多へ行って天満宮様に参つて、それから、熊本へ行って清正公様に参ることが出来たんですよ。こういうことが、横着をしたり怠けちやいかんなどということ、頭に据え付けたんじゃないですか。

出典 『岡崎嘉平太伝』(一九九二(平成四)年発行)

岡崎嘉平太ゆかりの地を巡る旅 開催しました

令和元年夏休みミニ企画展「知ってみよう！行ってみよう！嘉平太さん史跡めぐりー岡山県編」の一環で、令和元年10月5日(土)と11月9日(土)に岡崎嘉平太氏ゆかりの地をめぐるバスの旅を開催しました。まず1コース目の10月5日は、当館出発後吉備中央町内の妙本寺で嘉平太氏の碑を見学しご住職の説明を受けた後、嘉平太氏が通った大和尋常高等小学校跡地を訪問。そして嘉平太氏揮毫の「吉備真備記念碑」がある倉敷市真備町のまきび公園やまきび記念館、吉備寺等を訪問し、最後に嘉平太氏が小学校時代を過ごした総社市へ。ここでは総社市まちかど郷土館の浅野智英館長にご案内いただき、総社宮や、嘉平太氏が暮らした居住地跡を訪ねました。また2コース目の大和山山頂に建つ「望郷」の碑を訪ねるコースは、まず菩提寺である吉備中央町の妙仙寺を訪問、嘉平太氏のご息方が贈られた



妙本寺、碑の前で住職からの説明



旧大和小学校跡地を訪問



まきび記念館にて



大和山山頂「望郷」の碑の前で

鐘を鑑賞後、標高608メートルの大和山を片道約1時間かけて歩いて登りました。天候にも恵まれ、紅葉し始めた吉備高原の山中を楽しみながら登山し、山頂の嘉平太氏揮毫の「望郷」の碑前で記念撮影しました。その後、嘉平太氏墓所を訪問し、道の駅かようで散策、帰館しました。

岡崎嘉平太がめざした世界平和への道を考える 第18回講演会の開催



岡本 巖 先生



井上 正也 先生

令和元年10月16日(水)岡山大学創立五十周年記念館金光ホールにて「岡崎嘉平太がめざした世界平和への道を考える第18回講演会」を開催しました。

岡崎嘉平太記念館では、日中友好や世界の平和に尽力した岡崎嘉平太氏の功績や生き方を学ぶために、開館以来、毎年講演会を開催しております。本年は、日中経済協会理事長をつとめられ日中の経済関係に造詣の深い岡本巖氏と現代の日中関係を研究しておられる成蹊大学法学部教授の井上正也氏を講師にお招きし開催しました。両先生からは日中間が抱える現状問題や、日中国交正常化の礎となったLT貿易について知られざる事実も踏まえわかりやすく講演していただきました。

当日は県内外から80名の参会者があり、両先生のご講演に聞き入っておられました。

※講演の記録は冊子にまとめ発刊し、ご希望の方には頒布いたします。詳しくは岡崎嘉平太記念館までお問い合わせ下さい。



岡山大学創立五十周年記念館金光ホール

岡崎嘉平太没後30周年記念・秋の特別企画展 「日中国交正常化の礎—LT・MT貿易と 岡崎嘉平太」の開催

令和元年9月22日(日)～12月27日(金)



担いました。この度の企画展では、岡崎氏がLT貿易に関わったきっかけや経緯、そして実際どのようにLT・MT貿易が国交正常化へ貢献したか等を写真やスクラップ帳からの資料、日記等、ほぼ初公開の資料で紹介しました。また、「岡崎嘉平太がめざした世界平和への道を考える第18回講演会」の講師でもあった井上正也教授が深く関わられ編纂された、愛知大学国際問題研究所所蔵LT・MT貿易関係資料全8巻も企画展内で展示紹介いたしました。



特別企画展会場

夏休みミニ企画展「知ってみよう！行ってみよう！ 嘉平太さん史跡めぐり—岡山県編」開催



会場風景

令和元年8月3日(土)～26日(月)まで開催。岡山県に点在する岡崎嘉平太氏ゆかりの地を紹介しました。出身地である吉備中央町や、転居先の総社市、また岡山市や倉敷市等、意外に知られていない関係深い県内各地を地図や写真パネルで紹介しました。またワークショップとして、大きな岡山県地図を設置し、来場者に出身地や訪問地にシールをはってもらいました。また隣室の「嘉あちゃんの部屋」では夏休みの宿題の一助となればと嘉平太氏ゆかりの地に関する本を取りそろえた臨時の図書室も開設しました。

「第13回嘉平太が愛したふるさと岡山写真展」

令和元年8月5日(月)～11日(日)まで、岡山市の岡山県天神山文化プラザで全ての応募作品を展示しました。



「嘉あちゃんの部屋」で地元の皆さんが展覧会を開催



「気のむくままに布あそびー奥村さんのオリジナルバック展」
令和元年10月2日(水)から14日(月)まで開催。吉備中央町在住の奥村泰子さんが長年制作されてきた、パッチワークや様々な布を組み合わせて作られたバックや壁掛け等約30点を展示。色とりどりの作品が並びました。



「吉備高原清和荘絵本プロジェクト・創作絵本『かくしごと』～ミーちゃんとクロくんのデート～展」令和元年10月19日(土)から11月17日(日)まで開催。吉備中央町内にある吉備高原清和荘の皆さんが物語も絵も創りあげたオリジナル絵本の原画約50点を展示しました。初めて絵を描く方も多かったようですが、とてもユニークで表情豊かな作品が、多くの来場者を魅了していました。



「一米寿記念ー銭本遊舟書展」令和元年11月23日(土)から12月22日(日)まで開催。吉備中央町在住の銭本功さんの作品約15点を展示。百人一首や古今和歌集等、多彩な作品が並びました。



「第1回森の宝石ブッポウソウ絵画展」 令和2年1月5日(日)から13日(月・祝)まで開催。吉備中央町等に飛来する絶滅危惧種の渡り鳥ブッポウソウを題材にした絵画コンテストを住民団体「ブッポウソウ吉備中央町会」が実施、昨夏、作品を募集し町内の小学5、6年生から60点が寄せられました。



令和元年度 吉備中央町図画展

令和2年1月11日(土)から20日(月)まで県の児童生徒絵画展町審査会(小学生)及び赤磐ブロック審査会(中学生)で佳作以上の賞を受賞した、町内の児童・生徒及び幼稚園児の優れた作品を展示しました。



※「嘉あちゃんの部屋」は主に町内の団体及び住民などによるコミュニティづくりや地域振興などの活動の利用により、学習の場、憩いの場、ふれあいの場、作品発表の場を提供、支援するための施設で、どなたでもお気軽にご利用できます。

令和元年度 吉備中央町中学生国際交流研修団報告会開催



報告する中学生

令和2年1月25日(土)、研修団のメンバー7名に中国・淮安市での研修報告をしていただきました。吉備中央町と中国淮安市は、同町出身の岡崎嘉平太氏と同市出身の周恩来総理を縁に両自治体が1993年に友好提携協定を結び、双方の中学生がホームステイなどの相互交流を続けており昨年は町内の中学生が淮安市を訪れました。また元吉備中央町地域おこし協力



講師の井上ゆき美さん

隊の井上ゆき美氏に、国際交流を軸としたご自身のご経験等をお話いただき大変意義深い会となりました。当日は約50名の出席がありました(吉備中央町国際化推進協会共催)。

「覚友会」に職員が参加

今年度の特別企画展でも取り上げた「L T・MT貿易」に関わってこられた方々が中心となって毎年「覚友会」を開催されています。岡崎嘉平太記念館の職員も毎年参加させていただいており、今年で5回目となりました。今回も岡崎嘉平太氏の薫陶を受けてこられた方々とのお話や交流をさせていただきました。



参会者の皆さんとの集合写真

来館くださいました



吉備中央町内の津賀小学校、下竹荘小学校、豊野小学校、御北小学校、吉備高原小学校の4年生の児童の皆さんや先生方が授業の一環で来館下さいました。学芸員による紙芝居や、館内説明、クイズ等で学習した後ANAオリジナルの紙飛行機を作って飛ばしたりと約1~2時間程滞在しました。当館では郷土の誇りである岡崎氏について子供達にしっかり伝えていきたいと出前講座も含めて教育普及に努めています。

令和元年8月2日(金)には吉備中央町教職員町内施設巡り研修で、先生方25名がご来館下さいました。また同月12日(月)には、国立吉備青少年自然の家へテニス合宿に来られた小中学生の皆さん38名が来館下さいました。9月9日(水)には大阪府高槻市より「高碓達之助に学ぶ会」の皆さん約25名がご来館下さり、学芸員による説明を受け見学下さいました。また、12月18日(水)には中国青年実業家14名の皆さん、令和2年1月26日(日)には「“吉備高原”冬にあったかぼかぼかキラキラツアー」にご参加の皆さん26名がご来館下さいました。ありがとうございました。



吉備中央町教職員町内施設巡り



「高碓達之助に学ぶ会」の皆さん



中国青年実業家の皆さん



“吉備高原”冬にあったかぼかぼかキラキラツアーの皆さん

出展しました 令和元年10月20日(日)倉敷市芸文館で開催された「第29回倉敷国際ふれあい広場2019」に出展しました。嘉平太氏の生涯や功績をパネルやパンフレットで紹介しました。



講演しました 令和2年1月23日(木)に岡山県郷土文化財団評議員の河田啓子元館長が嘉平太氏の母校でもある県立岡山朝日高等学校で行われたボランティア講座で、約400名の生徒の皆さんに嘉平太氏の生涯や功績を紹介しました。

くんじょう

燻蒸作業を行いました

くんじょう

令和元年7月中旬に当館にて燻蒸作業を行いました。燻蒸とは、収蔵資料の害虫駆除及び殺菌等を行い貴重な資料を守る作業のことです。

日めくりカレンダー 令和元年12月から令和2年1月にかけて、県内大手書店にて、当館オリジナル日めくりカレンダー「遺墨日めくり岡崎嘉平太の心」を置いていただきました。各日ごとに一点一点岡崎氏の遺墨を紹介、毎月毎年お使いいただけるカレンダーです。



一訃報のお知らせ

令和元年10月3日に、岡崎嘉平太氏ご長男の岡崎彬氏(享年89歳)が亡くなりました。生前は当館の運営・企画等にも大変ご尽力いただきました。謹んで御冥福をお祈り申し上げます。

吉備高原学園高等学校 生徒作品展

令和2年3月12日(木)~4月6日(月)

専門コースに所属する生徒の皆さんが授業や部活動等で制作した主に陶芸や漆芸、木工工芸作品を展示します。

展示場所: 岡崎嘉平太記念館企画展示室

催しのご案内

第14回 嘉平太が愛したふるさと岡山写真展

※応募締切は令和2年3月2日(月)

展示期間

令和2年4月16日(木)~6月18日(木) 岡崎嘉平太記念館
7月14日(火)~19日(日) 岡山県天神山文化プラザ(岡山市)
応募された全作品を展示します。



編集・発行: 岡崎嘉平太記念館

〒716-1241 岡山県加賀郡吉備中央町吉川
4860-6 きびプラザ内

TEL 0866-56-9033 FAX 0866-56-9066

HP <http://www.okazaki-kaheita.jp>

Eメール okmh@okazaki-kaheita.jp

『岡崎嘉平太さんとの思い出』を募集します

皆様から岡崎嘉平太氏との思い出を募集いたします。お寄せいただいたエピソードや写真の一部は当館が主催する行事等で紹介させていただくこともあります。メールの方は上記「お問い合わせ」フォームから、またFAX、郵便等でもお受けいたします。是非ご協力下さい。